

1年学年通信



刈谷市立依佐美中学校

1年学年だより

7月号

令和5年6月30日(金)

「STAR」

～248人全員が考動し、団結できる学年を目指して～

1学期のまとめをしよう

夏の日差しが降り注ぐ季節になりました。

6月5日に行われた学習コンクールでは、5教科の勉強に丁寧に取り組む姿が見られました。この丁寧な取組こそが、3年間の積み重ねとして大切なことです。夏休みに向けて日々の授業や課題を大切にし、充実した中学校生活が送れるよう改めて今後の目標を見直してほしいと思います。

7月の主な予定

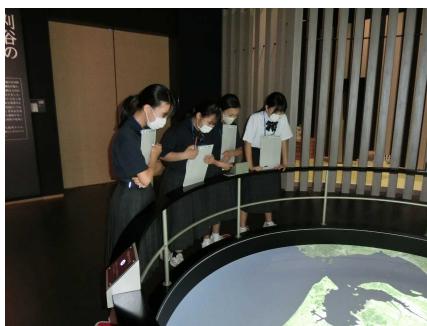
< 1～5hは、1時間目～5時間目 >

6日(木)	選手激励会（6h）
8日(土)	刈谷・知立地区選手権大会～9日、15～16日
10日(月)	1～5h(45分授業)
19日(水)	給食終了、委員会、大掃除
20日(木)	1学期終業式(部活動は、下校後再登校 14:00～16:15)
21日(金)	西三河大会～26日
24日(月)	三者懇談会～28日
8月	
16日(水)	全校出校日



歴史博物館を見学して

6月6～9日に刈谷市歴史博物館に見学に行きました。生徒たちは、刈谷市から出土した土器や展示資料を見て、刈谷の歴史を感じるとともに現代にも受け継がれているものを考えることができたようです。見学を通して感じたことを、授業の学びに生かしてほしいと思います。



<p>バックヤードでは、手作業でたくさんのかけらを組み合わせる作業をしていました。刈谷の遺跡は 150 個もあり、災害で被害が出ないように高台に建てるなど場所を考えて建物が建てられることに、驚きました。</p>	(1組 S Yさん)
<p>ふだんは見られない縄文土器の破片を実際に触ったり、縄文土器の模様の付け方を見たりすることができます、とても貴重な時間を過ごせました。</p>	(2組 T Eさん)
<p>昔の人々がさまざまな工夫をしてきたからこそ、今の自分たちの生活があるのだと感じました。手での復元作業も、遺跡を見るだけでは分からぬ苦労があるのだと分かりました。</p>	(3組 H Sさん)
<p>遺跡は身近な存在ではなかったけれど、刈谷にもたくさんあることを知り、日本中がつながっていることが分かりました。万燈や雨乞い笠踊りなど今にも続いている文化を知ることができてうれしかったです。</p>	(4組 M Yさん)
<p>環境の変化が起こったことで、生活の仕方も変わったことが分かりました。生活で使うために重い石を動かし、その石で道具を作ってさまざまな場面で使っていたことを知り、本当に驚きました。</p>	(5組 K Rさん)
<p>縄文時代は定住生活になっていき、優れた技術や文化をもって暮らしていたことが分かりました。土器はいろいろな形があり、時期によって貝や竹で掘られた跡もあり、おもしろかったです。</p>	(6組 K Hさん)
<p>縄文時代から現代へと受け継がれている文化について知ることができました。文化財を展示するためには、手間や時間、お金がかかっているので、他人事ではなく自分事として捉え、私も刈谷市の文化財を守る一端を担っていきたいです。</p>	(7組 I Yさん)

学習コンクールを行いました

6月5日(月)に学習コンクールを行いました。対策プリントを一生懸命取り組んだ生徒も多く、その学習が期末テストの成果にも生かされていました。漢字や数学の計算など、日々の授業で行っていることの積み重ねが、学習コンクールへとつながります。ぜひ、毎日の課題や授業を大切にしてください。

